

不祥事ゼロに向けた取組【一人一人が「自分事として考える」】 R.6.8.8

(文責 大子町立袋田小学校長 生天目 剛史)

学校は児童生徒にとって多くのことを学ぶ大切な場所です。そのため、児童にとって安全・安心な場所ではなくてはなりません。私たち教職員は、教育活動は、児童生徒や保護者、地域の皆様の信頼のもと成り立つものと考えています。

しかし、日々の報道でもあるように教職員の不祥事が続いています。本校では、このことを他山の石とせず、すべての教職員が、不祥事を自分事としてとらえ、自分の行動が教育全体に影響することを強く意識し、不祥事ゼロに向けて、行動していきます。

1 令和6年度コンプライアンス研修年間計画

4月	服務規律、個人情報の取扱いに関する確認
5月	信用失墜行為について
6月	個人情報の流出事案について
7月	教職員による不祥事根絶(盗撮等)について
8月	コンプライアンス(ボトムアップ①)
9月	会計の適正管理について
10月	コンプライアンス(ボトムアップ②)
11月	スクール・ハラスメントについて
12月	飲酒運転の根絶について
1月	コンプライアンス(ボトムアップ③)
2月	体罰について
3月	個人情報の保護について

2 教職員による不祥事根絶(盗撮等)についての研修の様子



3 研修資料

茨城県教育庁学校教育部義務教育課提供の講話動画及びレジュメ

4 教職員の意見（盗撮防止等に関して）

- ・使用したものは元の場所に戻す。
- ・屋外に接しているトイレのこまめな見回りが必要である。
- ・職員同士のコミュニケーションから、いつもと違うところがあれば気づけるようにする。
- ・定期的な研修による意識付けが必要である。

5 対策内容（盗撮防止等に関して）

- ・物品の整理整頓に努め、共有して使用する場所に何があるのかを全員が共通理解しておく。
- ・トイレの日常の見回り（業間、昼休み）をし、安全点検の際に、チェック項目だけでなく、不審物や不自然な箇所がないかどうかにも注意して見る。
- ・自分事として考える職員研修を定期的に行う。